

2019 統一自治体選挙、前半戦が終了しました。



上：原中まさし県議3選果たす
下：小川洋知事3選を果たす

4月7日に施行された「2019 統一自治体選挙」前半となる県知事選挙、県議会議員選挙、福岡市議会選挙は、即日、投開票の結果、新しい県知事、県議、市議が誕生しました。

福岡県知事選挙は、現職の小川 洋氏が大差で3選を果たしました。そして、福岡市議会議員選挙は、中央区の7議席をはじめ、市内7選挙区全てで議席が確定しました。

私は県議会議員3期目の当選を果たすことが出来ました。

皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、選挙戦でお示しました公約、政策の実現に向け、これから4年間の活動をより躍進させて参る決意です。引き続きのご指導、ご支援をお願い申し上げます。

2019年4月

福岡県議会議員 原中 誠志

【福岡県議会議員選挙：福岡市中央区】(中央区県議選投票率 39.06%)

原中まさし 12,367票 当選

- ・自民党公認候補 19,071票 当選
- ・自民党無所属候補 14,080票 当選
- ・保守系無所属候補 8,750票 落選

さて、全国的に注目を浴びた今回の福岡県知事選挙でしたが、「保守分裂」、「自民党内の権力闘争」ということで、有権者には判りづらい選挙となり、県民・有権者不在の県知事選挙でした。

私は、今回の福岡県知事選挙では「保守分裂選挙」ということ(構図)でマスコミが書き立てることに違和感と異見を持っていました。それは、今回の福岡県知事選挙の混乱というのは、中央政界の実力者が、権力を笠に着て県知事選に介入し、「自分の言いなりになる、意図する通りに動く知事をつくる」、「イエスマンの知事をつくる」というものであったからに他ありません。

しかしながら、県民・有権者の皆さんはこうした政治的意図、知事選の背後にある権力闘争、政界実力者の意図を読み取り、それに明確に「NO!」を突き付けました。結果は、小川知事に圧倒的な得票数を与え、3選を選んだのです。

【福岡県知事選挙】

小川 洋 1,293,648票 当選 (中央区県知事選投票率 42.64%)

・自民党推薦候補 345,085票

・共産党推薦候補 119,871票

2019 統一自治体選挙、後半戦は4/21投開票。

2019年統一自治体選挙の後半戦となる、市区町村首長選挙、一般市議会議員選挙、町村議会議員選挙は、4月21日(日)に投開票されます。

身近な自治体の首長、議員を決める大切な選挙です。有権者の皆様は、是非とも投票所にお足運び頂き、棄権なく投票して下さい。